

## 株式会社やまみ(東証1部 2820)

### 2020年6月期通期業績概要及び2021年6月期業績予想

#### 新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症による大きな影響は当社では現在発生しておりません。

仕入れ等については、新型コロナウイルス感染症発生前と、変わらない状況であり、製品の供給に必要な物資等は変わらず確保されております。

売上高についても順調な推移であり、2020年6月期第4四半期(4月～6月)においても大きな影響はございませんでした。

当社は食のサプライチェーンの一員として、感染対策の徹底を引き続き行い、消費者の皆様へ安心・安全な製品の安定供給に努めて参ります。

#### 富士山麓工場の進捗について

富士山麓工場単体では、4月から納品が始まった業務用製品や充填豆腐、新規PB製品の導入もあり、第4四半期(4月～6月)で約175百万円の売上となりました。2021年6月期については、以前より商談を重ねております大手取引先様への納品が秋口より予定されています。

富士山麓工場の償却負担は2021年6月期において単月で約50百万円となる予定です。

#### 製品集約、単価改善の取り組みについて

2019年6月期より、競争力の高さが取引先様に認知頂いている製品への集約や品質向上により、単価の是正に取り組み、収益性の改善を図って参りました。

継続した取り組みが成果として表れており、全製品における2020年6月期販売単価は2019年6月期比で7.1%上昇しております。

#### 主な取り組み

##### ① 焼豆腐の販売単価維持と売上増加

両面焼きでかつ、小分け・パック内カットをしつつ、高い時間当たり製造量を実現する技術力と、安定した供給体制が評価され、2019年6月期第2四半期に改善した単価を維持しつつ、売上数量は2019年6月期比48.7%増加しております。

##### ② 伝統的なお豆腐からの製品構成の変化

収益性の低い伝統的なお豆腐から収益性の高いカット3P豆腐、厚揚げ等に製品集約が進んでおります。また、販売単価の高い油揚げも好調となっており、製品単価の改善に貢献しています。

○業績サマリー（通期 前年同期比・予算比）

単位：百万円

	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期予算	2020年6月期 通期実績	前年同期比	予算比
売上高	10,881	11,600	12,644	+16.2%	+9.0%
売上総利益	2,953	2,653	2,906 富士山麓工場単体：▲573	-1.6%	+9.5%
営業利益	941	311	362	-61.5%	+16.6%
経常利益	976	340	409	-58.0%	+20.4%
当期純利益	684	694	814	+19.0%	+17.2%

## 1. 2020年6月期業績概要

### ◎売上高

売上高は、当社主力商圏（中四国・関西地方等）での販売が好調であったことに加え、第3四半期途中から富士山麓工場で製造を開始した業務用製品や充填豆腐により、前年同期比では+16.2%となる12,644百万円となりました。

### ◎売上総利益

売上総利益は、2019年6月期より取り組みを続けた製品構成の集約、高付加価値の製品への転換が進んだことにより、販売単価が改善されましたが、富士山麓工場の固定費負担等を吸収できず、前年同期比では-1.6%となる2,906百万円となりました。なお、富士山麓工場単体での売上総利益は▲573百万円となっております。

### ◎営業利益

営業利益は、運送コスト上昇に伴う荷造運賃の増加、富士山麓工場の固定費負担が影響し、販売管理費が前年同期比531百万円増加したことにより、前年同期比では-61.5%となる362百万円となりました。

### ◎経常利益

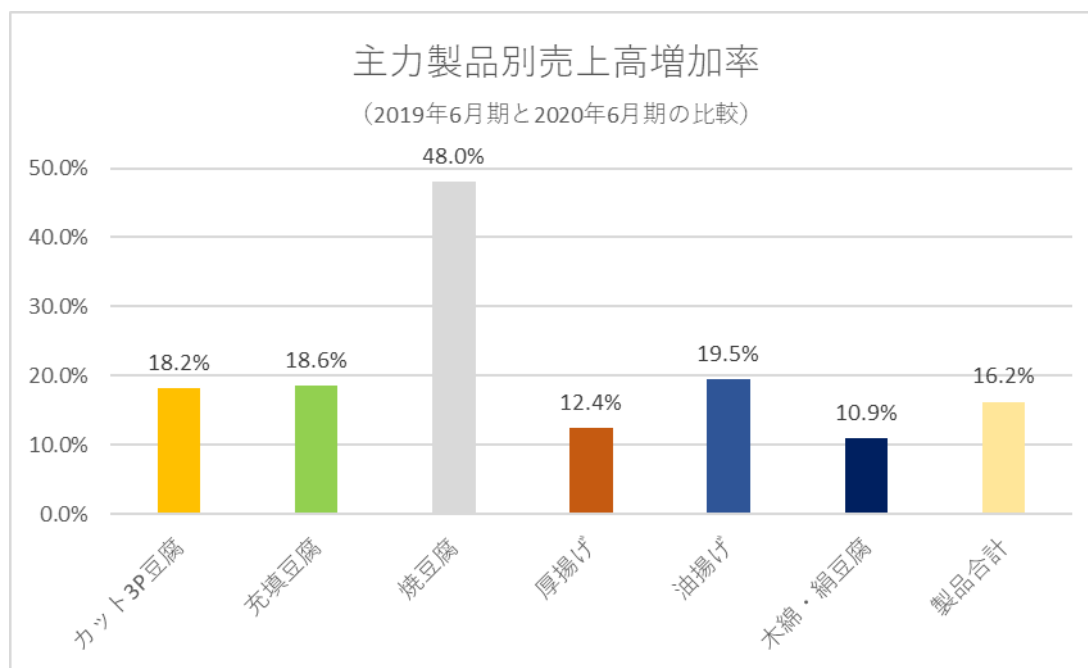
経常利益は、営業外収益が前年同期比2百万円増加し、営業外費用が9百万円減少したことから、営業利益を若干上回りましたが、前年同期比では-58.0%となる409百万円となりました。

### ◎当期純利益

当期純利益は、富士山麓工場の新設に係る補助金による特別利益が790百万円あったため、前年同期比では+19.0%となる814百万円となりました。

## ○主力製品別売上高増加率について

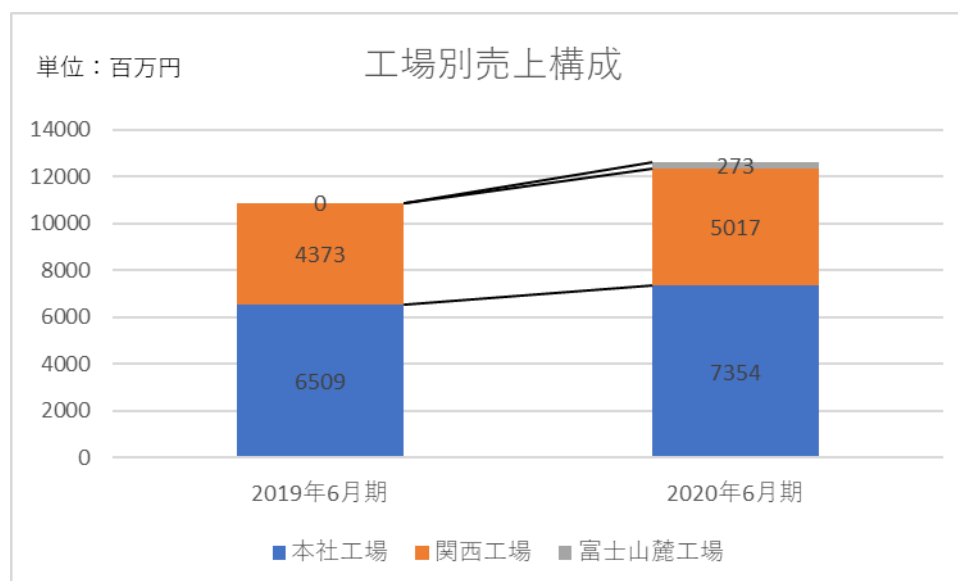
当社ではかねてより従来の 320g、400g の伝統的なお豆腐（表内：木綿・絹豆腐）から簡便性の高いカット 3P 豆腐等への切替をご提案しております。売価が低く、簡便性の低い木綿・絹豆腐は前年同期比では伸長しているものの、製品合計や他の主力製品と比べると伸び率が抑えられています。一方で、売価の高いカット 3P 豆腐や油揚げ、当社の強みである焼豆腐は大きく伸長しております。売上高を伸ばしつつ、売価が高く、簡便性の高い製品構成への変化が進んでおります。



## ○工場別売上構成について

### 2020年6月期における当社の工場別売上構成について

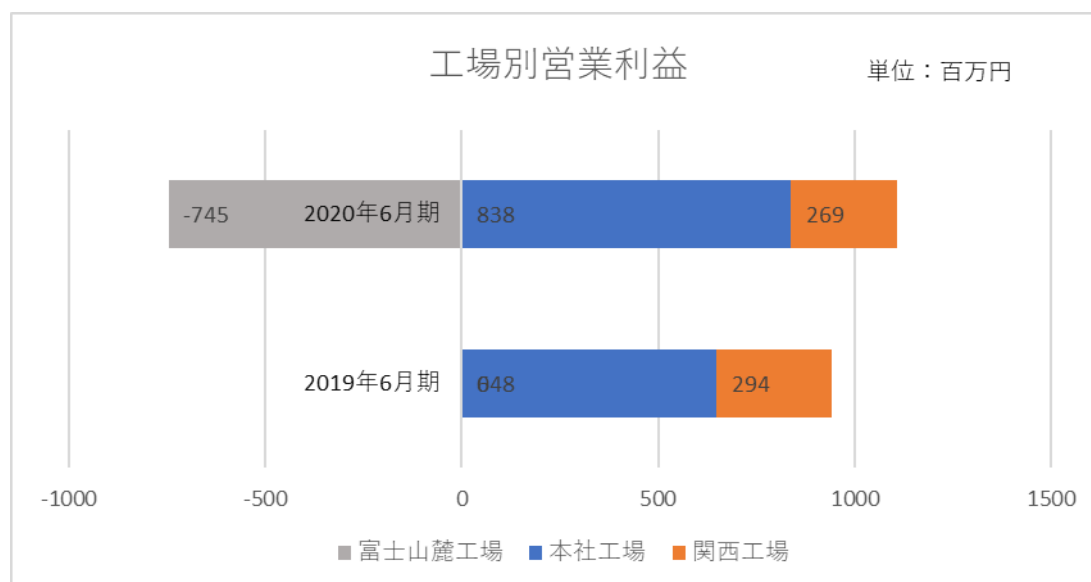
本社工場、関西工場ともに増収となりました。富士山麓工場については2020年6月期における売上高が273百万円となりました。当社主力商圏（中四国・関西地方等）における主力製品の販売が好調となっております。



## ○工場別営業利益について

### 2020年6月期における当社の工場別営業利益について

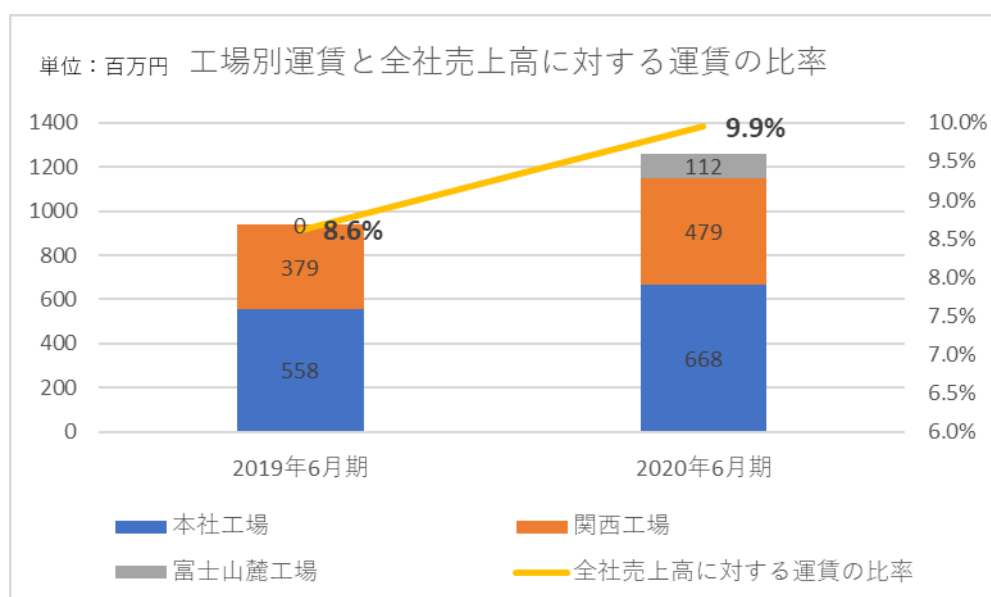
本社工場では売上増加に伴い、大きく増益となりました。富士山麓工場については固定費負担が大きく2020年6月期における営業利益が-745百万円となりました。



## ○工場別運賃について

### 2020年6月期における当社の工場別運賃について

2020年6月期における運賃については、物流業界の人件費上昇の影響を受け、全社売上高に対する運賃の比率は9.9%まで増加しました。商品集約と物流便の見直しを更に進め、運賃の増加を抑制していきます。



## 2. 2021年6月期業績予想について

2021年6月期業績予想は以下の通りとしております。

○業績予想サマリー（通期 前年同期比）

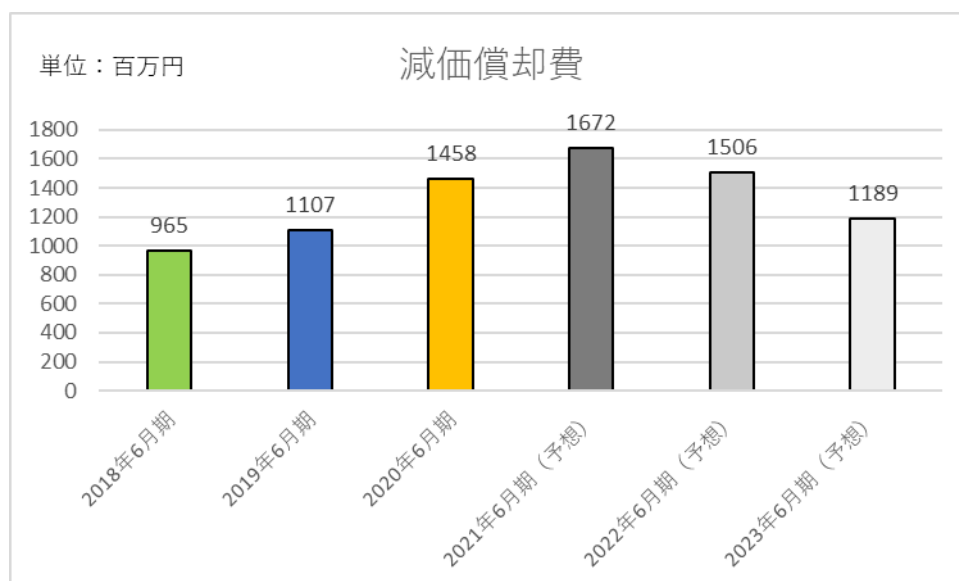
単位：百万円

	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 業績予想	増減額	前年同期比
売上高	12,644	13,020	375	+3.0%
売上総利益	2,906	3,021	114	+3.9%
営業利益	362	461	98	+27.2%
経常利益	409	501	91	+22.3%
当期純利益	814	325	-488	-60.0%

### ○減価償却費について

#### 2020年6月期における減価償却費とその後の推移の見込みについて

2020年6月期における減価償却費とその後の推移の見込みは下記の通りの推移となっております。富士山麓工場への設備投資が主な増加要因となっており、競争力の維持・向上に必要な設備投資を今後も継続していきますが、2021年6月期、2022年6月期においては設備改善のための投資のみとなり、ライン新設等の大型設備投資は予定しておりません。2022年6月期以降については、減価償却費は減少する見込みです。



### 【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和 50 年 1 月  
代表者： 代表取締役社長 山名 清  
資本金： 1,220 百万円  
事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売  
本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛 73 番地 5  
事業所 関西工場  
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 16 番地  
富士山麓工場  
静岡県駿東郡小山町湯船字下原 959 番 16  
大阪営業所  
大阪府茨木市末広町 4-41-202  
東京営業所  
東京都北区東田端 2-7-16 神原ビル 2 101 号室  
従業員数 正社員 247 名、パート社員 205 名  
合計 452 名 (2020 年 6 月末現在)

### 【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL : 0120-047-803 FAX : 0848-86-3676 e-mail : [ir@yamami.co.jp](mailto:ir@yamami.co.jp)

本資料は、2020 年 6 月期通期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は 2020 年 8 月 12 日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。